

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 広告を裏読みする
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点―読者の声・編集者の声



保健所の検査数削減で感染者数を減らすイカサマ。政府無策の人災である医療崩壊の一方で、中途半端な飲食店規制には1.5兆円が消える。緊急とは名ばかりの「ゆるゆる宣言」。延長しても効果はない。(110頁)

- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 **コロナ医療者「心の病」の深刻度**
- 102 真白き「流水」と人類の物語 ― 北海道「冬景色」にも気候変動の影
- 104 コロナの「生贄」飲食業界の悲痛 ― 政府・専門家「失政」の犠牲に
- 106 学問の自由を殺す「裁判所」 ― 京都芸術大「セクハラ判決」の衝撃
- 108 **お先真つ暗の「ワクチン接種」**
- 厚労省が生み出す「大バニック」
- 日本のサンクチュアリ・シリーズ 557
- 110 **緊急事態宣言 ― 税金浪費で「効果なし」**
- 88 皇室の風 ― 岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う ― 河谷史夫
- 96 をんな千一夜 ― 石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

3 連載「巻頭インタビュー」小笠原博毅 ― 東京五輪「強行」は間違っている

● 特別レポート

6 **弱点だらけのバイデン政権**

― 民主党版「国家の分断」の始まり

12 **中国がバイデンに挑む「海の対決」**

― 尖閣・台湾で地図書き換えの野心

14 **米軍で増殖する「テロ崇拝者」**

― バイデン暗殺の深い懸念

16 **「マルケル後」のドイツは大変革へ ― 鍵を握るは「緑の党」**

― WORLD ● 情報カプセル

22 **中央アジアで高まる「反中国」 ― 二帯一路の「暗黒面」が露見**

― COVID-19 ● 情報カプセル

24 **コロナワクチンの「地政学」**

― 各国総力戦で「力負け」の日本

28 **「地球温暖化難民」十二億の戦慄 ― 巨大な人波が先進国に襲来**

― ロシアに舐められる菅外交 ― 裏で続く経産省「親露路線」

32 **「微用工」慰安婦「日韓の最終手段」 ― 未解決の解決「模索する文在寅**

― 中国「脱炭素計画」の大嘘 ― 無理筋「再エネ大国」に潜む危機

36 **米中「ブロック経済圏」の優劣**

― バイデン時代に深まる「断層」

38 **連載「現代史の言霊」二月の端緒 ― 二〇二〇年米同時多発テロ事件**



無派閥総理を支える唯一の基盤は、二階の政治力。なのに、菅は独断で河野をワクチン担当相に起用。重要決定で「二階離れ」が静かに進む。官邸の機能不全ぶりを横目に、二階は「次の手」を考え始めた。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 ポスト菅でも「岸田」は無理 ― 戦略変更迫られる宏池会
- 48 **二階が菅を見限る時**
- 「解散権」失った総理の末路
- 52 連載「政界スキヤン」官邸内で「菅降ろし」は起きるか
- 54 **菅政権「春退陣」の現実味**
- 予算成立「花道説」は根強く
- 56 **「役立たず」のコロナ関連法改正**
- 厚労省と野党の「手抜き談合」
- 58 連載「罪深きはこの官僚」都築直史「電力広域的運営推進機関事務局長」 ― 「大停電危機で晒した無能

- 60 **「株バブル」はいつまで続くか**
- この宴もコロナ次第
- 62 北尾SBIと菅政権に「隙間風」 ― 地銀デジタル化の軸から外れる
- 64 **大和証券「電力事業投資」で大損失**
- 金融庁も注視する「簿外の爆弾」
- 67 連載「クロスアップ」石井敬太「伊藤忠商事次期社長」 ― 番頭さん、突然交代で高まる不審
- 68 連載「企業研究」**アンジエス**
- 大阪発「国産ワクチン」の夢は霧散へ
- 72 止まらぬ「敵対的TOB」の連鎖 ― 今年も続発「仁義なき戦い」の見所
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」静岡銀行 ― システム障害「連発」の大惨事
- 80 米国で「トヨタ不買運動」の予兆 ― 環境問題で「高額制裁金」の深層
- 82 **みずほFG恒例「行内闘争」の戦況**
- 坂井社長の「佐藤派」掃はなるか
- 84 厳冬下「停電危機」の真相 ― 政府と電力各社による「複合人災」
- 86 サムスン「帝国存亡」の崖っぷち ― この難局で李在鎔「再収監」の痛手

コロナワクチン国産化の夢を託したのは、18期連続赤字のベンチャー。案の定、開発は遅れに遅れ、仮に完成しても外資の先行者がひしめく中で出番はない。多額の補助金で甘やかした厚労省の罪も重い。(68頁)



大阪大学 大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授 森下 竜一
アンジエス株式会社 代表取締役社長 山田 英



史上最も「多様性」のある政権。その美名の陰で、早くも各種団体が利益誘導や政策要求を突き付ける。他者や意見の相違に不寛容なのは、共和党支持者と変わらず。米国の分断は新政権で一段と加速する。(6頁)